

2010年度の主な講習会開催状況

Table with columns: 開催日, テーマ, 参加, 講師名(敬称略). Lists various seminars and workshops held throughout the year, including topics like 'PAP療法', '新人スタッフ総合講座', and '歯科臨床Q&A'.

「10面からつづく」
には受託生保に日本・太陽の2社が新規参入し安全性・安定性がさらに高まった上、予定利率もアップした。労働保険事務組合業務は、雇用保険の各種届け出を中心に速やかな申請を心がけ、失業給付をはじめ各種給付手続きを進めた。2011年3月末時点の委託事業所数は700件となった。

銀行提携融資制度(近畿大阪銀行・保団連融資)は情報の提供と銀行への斡旋を行った。また、国民生活金融公庫(日本政策金融公庫)の新規開業ローンなどの活用・手続きについて相談に応じ、新規開業医会員を支援した。

保険医年金と休保制度の決算や支払い状況
医療運動と並行して、会員を臨床面・経営

6、歯科保険医の医療技術向上と経営を守る活動
(1) 社保・臨床講習会、新規開業医講習会、各種相談会など

況、自主共済規制の動きなどを報告し共済制度加入者の交流の場として定着している「共済加入者のつどい」は、医科・歯科合同開催となって10年目を迎えた2009年には272人が、2010年も276人が参加した。

面双方からサポートすることを重視して取り組んだ講習会は、「丁寧で分かりやすい」「情報が多い」「スタッフ向けの講習会も充実している」と好評で、年間参加者は2009年度が4600人を超え、2010年度の参加者も4233人となった。

(2) 第4回日常診療経験交流会

2009年6月、「真の医科歯科融合を目指して―糖尿病と歯周病の危険な関係―」をメインテーマに医科協会・協同組合と共同で開催、過去最高の270人が参加した。

(3) 会員学習会、サマーセミナー・地区セミナー

2009年8月23日に開いたサマーセミナーでは、2010年の診療報酬改定と今後の歯科医療を展望したほか、レセプトオンライン義務化や海外技工の安全性について言及した。2010年2月13日・14日の会員学習会では、記念講演に都留民子・県立広島大学教授を招き、「福祉国家フランスの現状」をテーマに社会保障重視の欧州型の国づくりについて学んだ。2010年8月22日のサマーセミナーでは、税と社会保障共通番号制を取り上げた。サマーセミナーの内容は各地区でも取り上げ「地区セミナー」として開催した。

7、患者を中心とした医科・歯科連携の推進

近年、歯周疾患がもたらす全身への影響が注視され、特に糖尿病を悪化させたり、ひいては動脈硬化や脳梗塞、心筋梗塞のリスクが高くなるなどの研究結果も出ている。協会は地域医療を担う開業医団体として、患者を中心とした医科・歯科の診療連携を進めることを目指し、外来ベースでの共同研究を実施するため全会員に医科・歯科連携医院としての登録を呼びかけ、会員の1割を超える390人が登録した。

8、くらしに平和憲法を生かす取り組み

開業医宣言は、「人命を守る医師はいかなる戦争をも容認できない。私たちは歴史の教訓に学び、憲法の理念を体して平和を齎らす動きに反対し、核戦争の防止と核兵器廃絶が現代に生きる医師の社会的責任であることを確認する」ことを謳っている。2006年に結成したおおさか医科・歯科九条の会をはじめ、医療従事者や医学生も対象に発足した大阪反核平和医療人の会は多彩な企画を展開した。

9、組織の拡大と強化

(1) 協会未入会者への対策と各種宣伝
2009年・2010年の2年度で、新規入会者は206人、退会者は145人、実増61人(前2年度比80.2%)となり、2011年3月末日現在の組織現勢は3833人となった。2011年の協会設立40周年を視野に入れた「会員紹介キャンペーン」を2009年度2回、2010年度に1回実施し、29会員から紹介を受け29人が入会した。

(2) 地区活動の活性化と会員の親睦・交流活動

大阪市内の5地区(東部・北部・南部・東西南・港大正)を、行政に対する運動を考慮した2次医療圏に対応した4地区に再編し、2009年4月から東部・西部・南部・北部の新しい4地区がスタートした。女性医師・歯科医師の会の「文楽を楽しむ」